



長島の新鮮な魚をたっぷり楽しんでほしい、日本一のブリの町を情報発信するイベント「第5回長島おさかな祭り」が11月25日、薄井漁港で盛大に開催されました。

このイベントは、自然豊かな環境のもとで育まれた魚や特産品を一堂に集め、来場者に「見て・食べて・長島に触れてもらう」と計画。今回で5回目となったことから県内でもうわさの祭りとなり、約1万8千人の来場者で、大賑わいとなりました。

会場では好評の模擬入札や魚の一本釣りのほか、漁船パレード、模擬船おろし、ブリ解体ショー、芸能ショーなどで来場者を楽しませていました。

2千食が提供されたブリ試食コーナーでは、さしみやブリ汁、ブリカツ、ブリご飯などが振る舞われ、例年同様多彩なブリ料理を堪能しようと、長蛇の列ができました。

模擬入札では新鮮な魚貝類を安く手に入れようと、町内外から大勢詰め掛けました。先着順で申し込んだ競り人は、各自希望した金額を競り札に書き込み、競り落とした魚貝類を手喜んでいました。

漁船パレードでは、大漁旗を揚げた町内の漁船31隻が集結し、豪快に波しぶきをあげながら勇壮に登場。薄井漁港の岸壁で待ちわびた観客は、手を振るなどして歓迎しました。

模擬船おろしでは、模擬船となった漁船から、紅白の餅投げがあり、大人も子どももわれ先となり餅ひろいに大はしゃぎでした。

タイとブリが当たる抽選会は、午後から2回行われ、見事抽選に当たった来場者は大喜びで当たった魚を手にしていました。

このほか、会場は新鮮な魚が安くで手に入る出店や町の特産品、子どもたちが楽しめる金魚すくいなど、盛りだくさんの催しとなりました。

出水市から親子4人で訪れた、小学5年の山内乃愛さんは「ブリの試食コーナーに並んだかいがあった。全部おいしかったけど、一番はおさしみ」と満足の様子でした。



第5回長島おさかな祭り

